

# 広聴会資料

長崎市議会議員 井上 重久

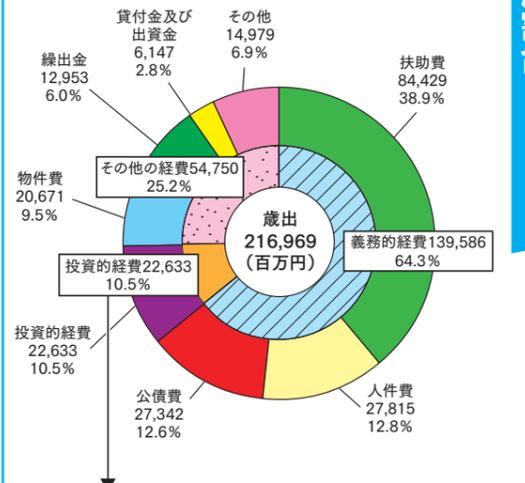
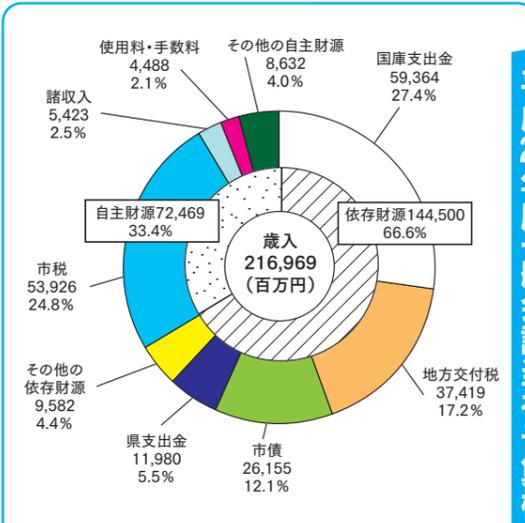
## 主な内容

- 1.平成28年度長崎市一般会計予算  
平成26年度決算(一般会計)
- 2.長崎市が計画している今後の大型事業



## 1 平成28年度長崎市一般会計予算

# 2,169億7,000万円



区分	予算額(百万円)
平成25年度 当初	21,506
平成26年度 当初	21,242
平成27年度 当初	26,496
平成28年度 当初	22,633

## 2016年度 長崎市一般会計当初予算案の主な事業

項目	事業名	予算案額
企業誘致	企業誘致推進費(企業立地奨励金)	7億3,820万円
農林・水産	★青壮年新規就農給付金事業	630万円
	有害鳥獣対策に助成	5,450万円
環境	★HACCP認定加工場建設費助成	1億円
	★新西工場建設(余熱利用施設)整備 新西工場建設(ごみ焼却施設)	4億120万円 19億3,380万円
まちづくり	斜面市街地再生事業	6億540万円
	★市街地再開発事業(新大工町地区)	1億3,390万円
教育	★扇風機整備(小・中学校)	1,840万円
	小楠小移転改築	8億350万円
夜景観光	鍋冠山公園展望台整備	7,000万円

## 2016年度 人口減少対策・地方創生に関する主な事業

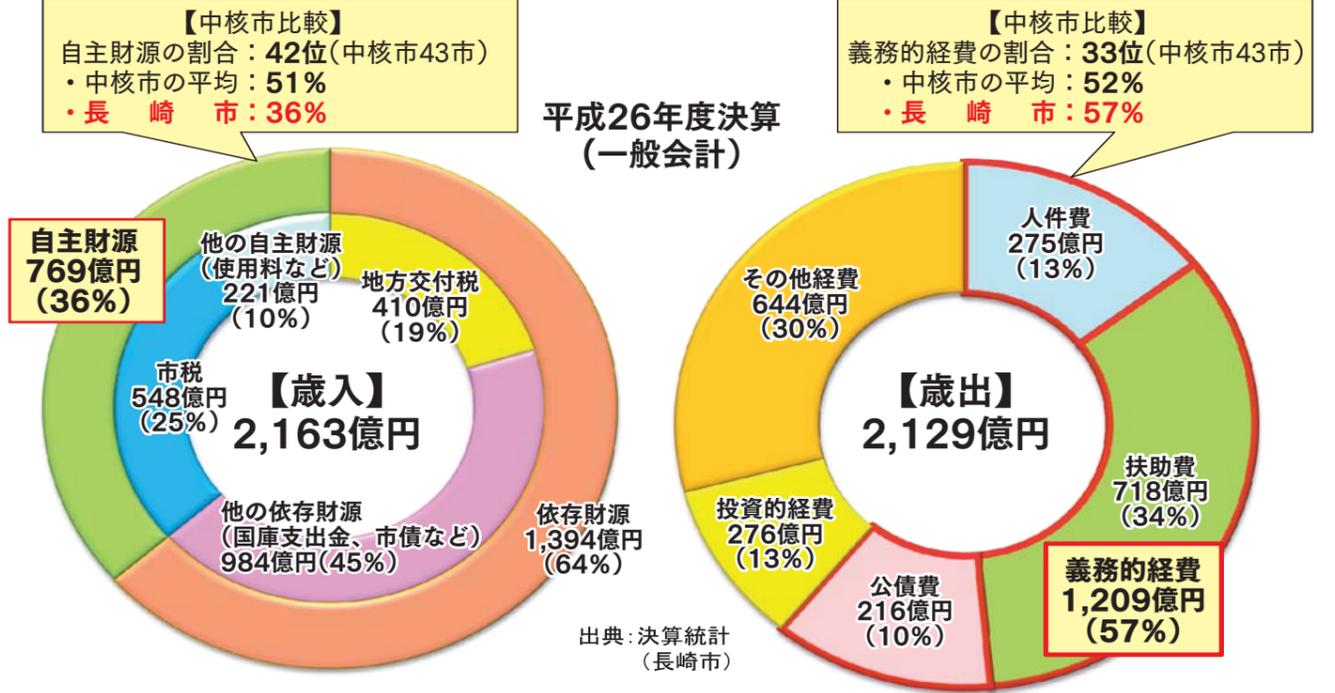
項目	事業名	予算案額
交流の産業化	産業革命遺産の事業推進	8,800万円
	★コンベンション費用補助	1,100万円
	★稲佐山スロープカー設計	6,300万円
	「長崎のおさかな」PR ラグビーW杯に向け交流	1,100万円 1,200万円
経済・雇用	ものづくり企業支援など	1,700万円
	★こだわり逸品の育成支援 中高年新規就農に給付金	1,800万円 600万円
ひとの流れ	★移住希望者向けHP開設	200万円
子育て	小学校卒業まで医療費助成	7億5,400万円
	産前産後の相談支援など	800万円
まちの基盤	★子育て住まいづくり支援	2,000万円
	★コミュニティーの活性化 「長崎の宝」学習、発信	1,100万円 300万円

★は新規

# 平成26年度決算(一般会計)

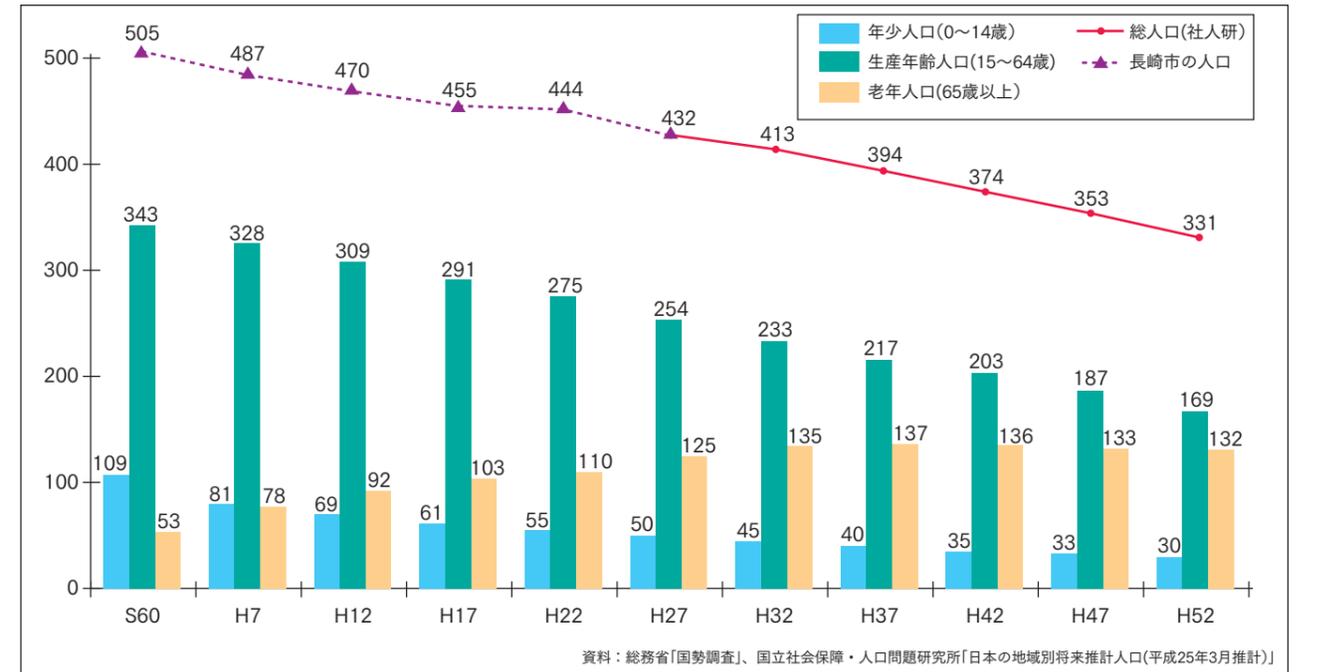
## 厳しい財政状況

- ★歳入: 自主財源の割合が低い ⇒ 市税収入が乏しく、国(交付税)などへの依存度が高い
- ★歳出: 義務的経費の割合が高い ⇒ 自由に使える経費が少ない



## 人口減少の社会へ

高度経済成長期: 昭和27~48年  
バブル景気: 昭和61年12月~平成3年2月  
第二次ベビーブーム: 昭和46~49年



## ② 長崎市が計画している今後の大型事業

## 大型事業の主な概要



### ● 今後想定される主な大型事業 ●

No.	施設名	総事業費(見込み)	事業期間(予定)	事業概要(進捗および検討状況)
1	新市庁舎建設事業	約230億円	検討中	● 公会堂および公会堂前公園敷地を建替え場所に着手時期検討中
2	端島(軍艦島)整備事業費	約50億円	H26~H36	● 護岸遺構、生産施設遺構の補強、保存措置を実施 ● H26~27年度 高島炭鉱整備活用計画
3	文化施設整備事業(公会堂)	約30億円	検討中	● 複数案で検討中
4	市民病院建設事業	約47億円	H20~H27	● 駐車場棟 平成29年3月完成予定 ● 総事業費約206億円(建設事業費ベース)
5	新西工場建設事業	約87億円	H25~H28	● DBO方式(公設民営)にて建設 ● H25年度から事業着手
6	交流拠点施設	約216億円	H26~H30	● 平成27年3月に土地取得 ● MICE機能を中核とした案で検討中
7	長崎駅周辺土地区画整理事業	約154億円	H21~H35	● 事業着手済 ● 施行面積約19.2ha
8	JR長崎本線連続立体交差事業負担金	約74億円	H21~H32	● 事業着手済 ● 松山町~尾上町 L=約2.5km
9	九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)負担金	約13億円	H24~H34 着工から概ね10年	● 事業着手済 ● 長崎市負担延長 L=1.361km ● 長崎市の負担額:市負担延長に対する長崎県負担分の20%
10	市道大黒町筑後町1号線(拡幅整備)	約40億円	H26~H32	● H24現況測量・詳細設計 ● H25都市計画決定
	計	約941億円		

※上記は中長期的な財政シミュレーションをするにあたり、まだ決定されていない事業も含め、現時点で想定される大まかな数値です。

### 1 市庁舎建設事業

【ミッション】  
新市庁舎建設を進めます (H25年度 基本計画策定)

総事業費 約230億円

### 3 文化施設整備事業(公会堂)

「市公会堂条例を廃止する条例」は平成26年6月議会で可決!

総事業費 約30億円

### 4 新市立病院

【施設の概要】  
● 階数 I期棟(地下2階、地上8階) II期棟(地下1階、地上4階)  
● 病床数 513床(結核病床13床含む)

【スケジュール】

項目	期日
工事着手	平成24年2月
I期棟建物の開院	平成26年2月
II期棟運用開始	平成28年3月

【新市立病院が提供する医療】

- 「ER型救命救急センター」を整備
- ヘリポートを設置
- 「脳血管疾患医療」「心疾患医療」「がん医療」の提供
- 地域の医療機関との連携
- 母体・胎児、生まれたばかりの赤ちゃんのための周産期医療の提供
- 市立病院として、災害医療、結核医療、感染症医療の政策医療を実施

総事業費 約47億円

### 6 交流拠点施設検討

平成24年度 MICE施設整備可能性調査 → 平成27年度 活用方針(案)  
(国土交通省「先導的官民連携事業」)

平成26年長崎市観光消費額 1,243億円(観光客数630万人)

MICEの宿泊客1人当たりの平均支出額 → 一般宿泊観光の約2.5倍  
※一般宿泊観光28,277円/人⇒MICE70,864円/人  
~平成23年長崎市コンベンション経済効果分析報告書より~

展示・商談会(他都市の様子)

総事業費 約216億円

### 9 九州新幹線西九州ルートの開通は、地域の発展や浮揚に大きく貢献します!!

● 中国・関西圏との観光や産業面での連携強化  
● 海外航路を介した日本とアジアとの新たな交流軸の形成等...

【整備効果】

- 1 長崎~博多間が最短28分短縮
- 2 鉄道利用者が約1.3倍(西九州~福岡・中国・関西方面)  
【現行】約1.5万人/日 ⇒【開業後】約1.9万人/日
- 3 費用便益 約1.1  
【総便益】約4,594億円  
【総費用】約4,206億円
- 4 フリーゲージレインの導入

出典:国土交通省交通政策審議会整備新幹線小委員会資料  
九州新幹線西九州ルート(平成34年開業予定)

総事業費 約13億円

### 10 大黒町界隈の整備(市道拡幅・河川整備)

道路整備と河川整備の総合的な計画による、長崎駅周辺からまちなかへの回遊性向上

慢性的な交通渋滞の解消  
水に親しめる河川環境の整備

市場解体状況

交通渋滞状況

総事業費 約40億円